

関係者各位

茨城県立大子特別支援学校長 宮山 敬子
(公 印 省 略)

テクノロジーを活用した重度障害児の支援
「これからはじめる視線入力」研修会について(ご案内)

寒冷の候 ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。また、日頃は大変お世話になっております。

さて、標記のことにつきましては、下記のとおり開催いたしますので、ご案内いたします。

今回、講師をお願いしました島根大学の伊藤史人先生は、教育福祉分野における視線入力活用の第一人者であります。全国各地における実践研究、講演活動などを精力的に実施されるとともに、視線入力アプリの開発と無料配付(ダウンロード)、数多くの実践事例等の情報の発信をしてくださっています(下記 URL 参照)。この度本校で視線入力の導入を考えていることをお伝えしたところ、愛正会記念 茨城福祉医療センター様のご協力を得まして、講演をしていただけることになりました。貴重な機会ですので、本校だけではなく、子どもの可能性を信じ、テクノロジーを活用して指導・支援を行うことに興味関心のある方や勉強したい方などに、多数ご参加いただければ幸いです。

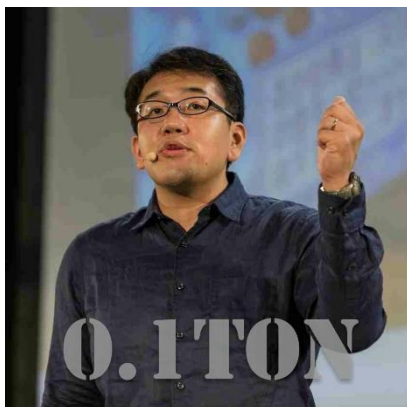
記

- 1 日 時 令和2年1月22日(水) 午後2時から午後4時まで *受付は午後1時30分から
- 2 会 場 愛正会記念 茨城福祉医療センター3階ラピタ
〒310-0836 茨城県水戸市元吉田町1872-1 TEL 029-353-7171
- 3 主 催 茨城県立大子特別支援学校
- 4 日 程 13:30~14:00 受付
14:00~15:30 講演
演題 子どもの可能性を信じよう ~テクノロジー活用によるアプローチ~
「これからはじめる視線入力」
講師 伊藤史人氏(島根大学助教)
※講演の途中休憩を5分程度挟みます。そのときに感想や質問事項を付箋に書いていただき、後半もしくは、質疑応答の時間に話題にさせていただく予定です。
15:30~16:00 質疑応答
- 5 その他 ・駐車スペースに限りがありますので、乗り合わせにつきましてご協力をお願いいたします。
・資料代として1000円いただきます。
・参加申込みは、チラシの裏面に必要事項を記入の上 FAX でお申し込みください。
締め切りを、令和2年1月15日(水)といたします。 ※会場の関係で定員を60名程度としておりますが、空席がある場合は当日参加も可能といたします。空席の有無については本校にお問い合わせください。
・伊藤史人先生の情報発信 URL:<https://www.poran.net/ito/home/profile>
<https://youtu.be/SKGWSE12vVA?t=50>

[問い合わせ先] 茨城県立大子特別支援学校 担当 教頭 吉田 信仁

TEL: 0295-74-1444 FAX: 0295-74-1445 Email: yosida.nobuhito@mail.ibk.ed.jp

講師プロフィール



東京都中野区出身。大学進学を期に岩手県盛岡市へ。大学院・会社勤務・大学勤務など15年間を過ごしました。

一橋大学助教としての勤務を経て現在は島根大学助教(2016.10現在)。
やっぱり私には地方での生活がしっくりきます。

自己紹介

- 名前: 伊藤 史人(いとう ふみひと)
- 所属: 島根大学総合理工学研究科機械・電気電子工学領域 助教
- 出身地: 東京都中野区, 岩手県東磐井郡千厩町(旧名)
- 生年月日: 1975年5月27日
- 学位: 博士(ソフトウェア情報学)
- メール: fumi[あっとまーく]ecs.shimane-u.ac.jp

研究テーマ

学歴

- 1995-2001年 岩手大学工学部機械工学科
- 2004-2011年 岩手県立大学ソフトウェア情報学研究科

職歴

- 2001年 株式会社デジタル・カルチャー・テクノロジー プロダクトエンジニア
- 2006年 岩手県立大学 研究員
- 2007年 (兼務)大学発ベンチャー 株式会社 i-Plants Systems 取締役
- 2008年 (兼務)岩手県産業技術短期大学校 非常勤講師
- 2010年 一橋大学情報化統括本部情報基盤センター 助教
- 2014年 島根大学総合理工学研究科 助教

受賞

- 2019年7月 令和元年度島根大学総合理工学部機械・電気電子工学科 特別賞
- 2019年3月 総務省 ICT 地域活性化大賞 2019 優秀賞受賞
- 2019年3月 WSA SMART SETTLEMENTS & URBANIZATION グローバルチャンピオン
- 2018年10月 日本リハ工学研究会 福祉機器コンテスト 学生部門優秀賞(指導)
- 2018年9月 平成30年度島根大学研究表彰 および 優良教育実践表彰
- 2018年3月 東京都オープンデータコンテスト 入賞&特別賞
- 2018年2月 Zero Project Award 2018 (Innovative Practice 2018 on Accessibility)
- 2017年10月 第44回NHK日本賞2017 クリエイティブ・フロンティア部門 最優秀賞
- 2017年9月 第16回情報科学技術フォーラム FIT 奨励賞
- 2015年12月 HCG シンポジウム2015 オーガナイズドセッション賞
- 2015年12月 HCG シンポジウム2015 インタラクティブセッション賞
- 2015年10月 日本リハ工学研究会 福祉機器コンテスト 学生部門最優秀賞(指導)
- 2015年3月 Google インパクトチャレンジ 2014/2015 グランプリ賞
- 2007年7月 CARS2007 POSTER AWARD 1st Prize, H. Haneishi, S. Yuzuki, M. Kawanishi, M. Suzuki, F. Itoh, A. Doi, "Improvement of 2D/3D registration technique for acquisition of three-dimensional knee joint motion.", 21st International Congress on Computer Assisted Radiology and Surgery. Held on June 27-30, 2007 at the ICC Berlin, Germany.
- 2008年11月 スタートアップ部門優秀賞, 伊藤史人, "株式会社アイプランツ・システムズ", 第四回いわてビジネスグランプリ財団法人いわて産業振興センター
- 2007年10月 アート&テクノロジー東北・審査員特別賞, 伊藤史人, 土井章男, "Volume Extractor Ver.3.0 (3次元医用画像情報システム)", 2007.
- 1997年1月 NHK「青春メッセージ1997(旧青年の主張)」東北大会優勝&全国大会出場

社会活動

- 情報ボランティア ポランねっと 設立
- 任意団体 ボランティア朔風 外出支援・余暇活動支援ボランティア
- 電子情報通信学会発達障害研究会 会計幹事
- 電子情報通信学会 HCG シンポジウム運営委員
- 電子情報通信学会 特集号編集委員
- IEEE HISS シンポジウム査読委員
- ウェブアクセシビリティ推進協会会員
- NPO 法人 ICT 救助隊 難病コミュニケーション支援講座 講師
- NPO 法人さくら会 理事

< メッセージ > ※ポランの広場より

子どもたちの可能性を信じよう～テクノロジー活用によるアプローチ～

「これからはじめる視線入力」

いまできる最高のチャレンジを続けよう!いまあるテクノロジーを活用してみよう!

「できない」とされている

たくさんの子どもたち

大事なのは、その見た目に惑わされないこと

子どもの可能性を信じること

「できる」を求めて暗闇を歩むかもしれない

孤独に負けてあきらめそうになるかもしれない

きっと、哀れみの目にふさぎ込むこともある

それでも、「できる」を目指し続ける

まずは自分を信じて

最初の一步を踏み出そう

人はテクノロジーで進化してきた

人は迷いながら、もがきながら成長してきた

いまできる最高のチャレンジを続けよう

いまある最高のテクノロジーを活用してみよう

はじめて見る「できた!」子どもの姿

はじめて見た可能性を証明したその姿

子どもの「できた!」によって

変わるのは私たちなのかもしれない

子どもはいつも待っている

私たちが可能性を信じ続けている限り

たとえ、行く末が見えない中でも

探し続けよう、子どもの「できる」を!